

平成29年度 4年生苫小牧市統一学力検査の結果

1 検査の概要

(1) 実施日

平成29年4月19日(水)

(2) 調査対象

市内小学校第4学年

(3) 検査内容等

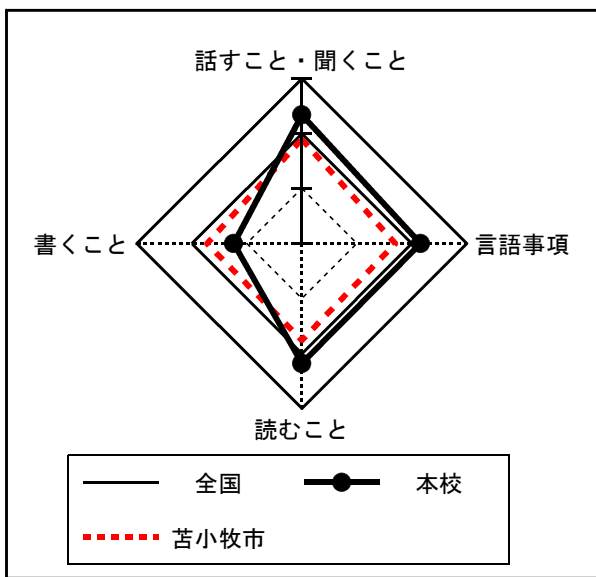
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施(出題範囲は前学年の学習内容)
- ② 全国学力調査(集団準拠評価)を実施

2 本校の結果と考察

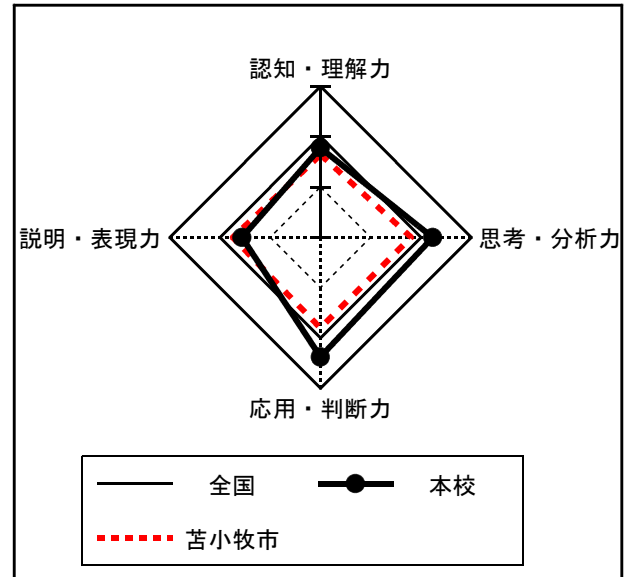
(1) 国語科

①領域別(※1)及び能力別(※2)の偏差値SS(※3)における全国との比較

【領域別】



【能力別】



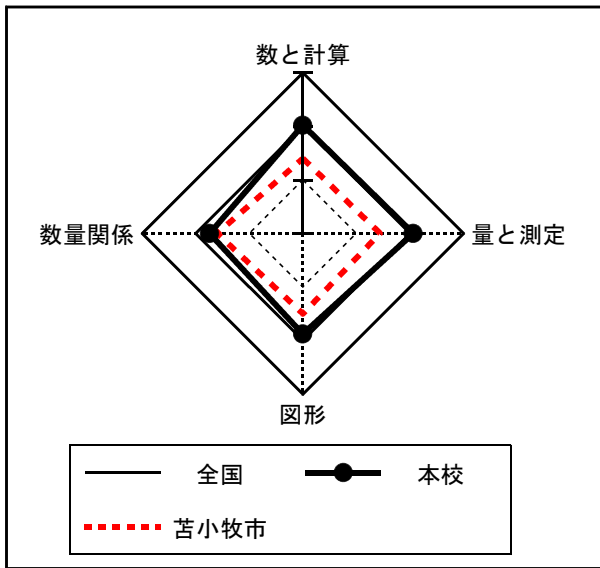
③考察

- 領域別では、「書くこと」は全国平均を下回り、他の3領域では、全国平均を上回りました。「書くこと」に課題が見られました。
- 能力別では、「認知・理解力」「説明・表現力」は全国平均を下回り、「応用・判断力」「思考・分析力」は、全国平均を上回りました。
- 偏差値平均は、全国値とほぼ同程度でした。
- 今後は、学習理解が深まるように、目的に応じて読み、読んだことを表現していく学習活動に重点をおいて指導していきます。

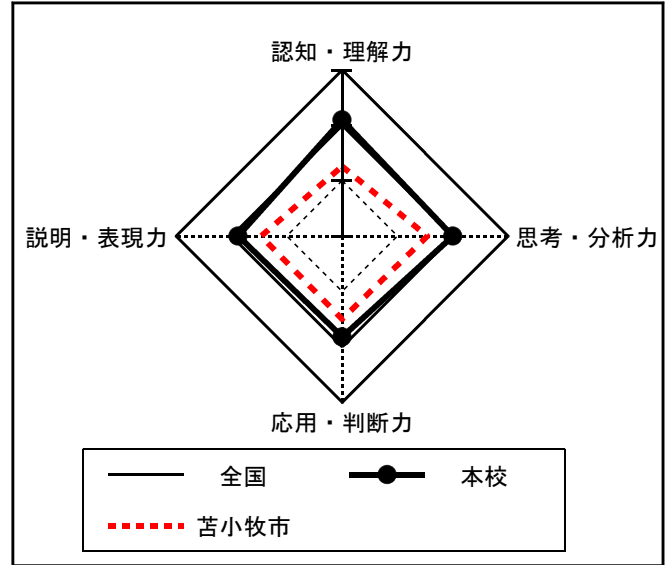
(2) 算数科

①領域別 (※1) 及び能力別 (※2) の偏差値 SS (※3) における全国との比較

【領域別】



【能力別】



③考察

- 領域別では、「数と計算」「量と測定」は全国平均を上回り、「図形」「数量関係」では、全国平均をわずかに下回りました。
- 能力別では、「認知・理解力」「思考・分析力」は全国平均を上回り、「説明・表現力」「応用・判断力」は、全国平均をわずかに下回りました。
- 偏差値平均は、全国値とほぼ同程度でした。
- 今後は、学習理解が深まるように、実際に図やグラフをかいたり、観察したりする学習活動に重点をおいて指導していきます。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとめり（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力

【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとめり（数と計算・量と測定・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値